

平成27年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名		市民大学こまきみらい塾運営事業							担当部		教育委員会事務局		
	会計区分		一般会計			事業類型		実施計画事業以外		担当課		まなび創造館		
	事業期間		平成14年度			～		平成31年度以降			担当係		事業係	
	総合計画 分野別計画	主目的	4 教育文化			17 男女共同参画			2 あらゆる分野への男女共同参画を促進します					
		副目的										実施計画対象		
	予算区分		款	10	項	5	目	10	大	4	中	3		
	根拠法令・個別計画													
	目的 (対象をどのような状態にするのか)		女性と男性の意識改革につながる学習と人材育成を目的とした学習の機会を提供し、多くの方に学んでいただくとともに、卒業生が地域アドバイザーとして男女共同参画社会の実現を目指して出前講座等の啓発活動を行うことにより学んだことを地域に還元する。											
	内容 (手段)		○26年度実施内容 ・教養課程…1講座5回で22講座開講(男女共同参画社会を創る、時事問題を知るための講座など) ・テーマ学習コース…1講座10回で1講座開講(笑いは明日の人生を明るくする) ・専門課程…1講座15回で開講(“幸せ育て”…いっしょに参画の種をまきましょう。) ・公開講座…入塾式・修了式に2回開催 ・特別講座…1講座2回で1講座開講(おいしく！楽しく♪幼児食) ・年間講座計画、講師との連絡調整、講座開催に伴う広報活動と事務処理(申込受付、名簿作成、講座資料の用意)、当日の使用機器の調整、また塾生の単位認定と管理を行った。 ・「はじめの一步」男女共同参画おたすけ隊としてグループ化した卒業生は、男女共同参画普及員研修会、東田中ひまわり学級において、手作り紙芝居などを利用した市民の目線でもわかりやすい出前講座を実施した。また、平成26年度は、活動紹介パンフレットの作成や啓発活動のための資料整理をおこなった。 【直接経費の内訳】 講師謝礼(2,245千円) 運営委員会委員謝礼(287千円) 旅費(22千円) 食料費・印刷製本費(311千円) 公開講座開催委託(1,024千円) 有料道路使用料(6千円)											
			◎平成27年度実施内容 ・27年度及び28年度は、今後の事業実施について検討するため、新規塾生の募集は行わない。 ・教養課程…1講座5回18講座の開講とする。 ・その他は、26年度と同様に実施する。 【直接経費の内訳】 講師謝礼(2,430千円) 運営委員会委員謝礼(350千円) 旅費(30千円) 食料費・印刷製本費(429千円) 筆耕翻訳料(194千円) 公開講座開催委託(1,080千円) 有料道路使用料等(17千円)											
受益者負担		有		講座受講料(570,000円 塾生年間5,000円、聴講生1講座1,000円(特別講座は1講座500円))										

コスト				単位	H24決算額	H25決算額	H26決算額	H27予算額
	費用	直接経費		千円	3,879	4,032	3,895	4,530
		正職員	従事者数	人	0.50	0.50	0.50	0.50
			人件費	千円	2,630	2,630	2,630	2,630
		その他職員	従事者数	人	1.30	1.30	1.00	0.75
			人件費	千円	2,285	2,354	1,512	1,134
		費用合計		千円	8,794	9,016	8,037	8,294
		対前年比		%		102.5	89.1	103.1
	財源	一般財源		千円	8,186	8,359	7,467	7,794
		国・県支出金		千円	0	0	0	0
		その他財源		千円	608	657	570	500

業 績	活動指標名	単位		H24	H25	H26	H27
	塾生数	人	目標	120	100	100	70
			実績	88	88	79	
	聴講生数	人	目標	190	190	240	150
			実績	171	235	180	
			目標				
			実績				
	成果指標名	単位		H24	H25	H26	H27
	講座受講者	人	目標	1,020	1,020	1,000	660
			実績	890	906	796	
	公開講座受講者	人	目標	400	550	550	550
			実績	458	521	459	

事業の自己評価	平成26年度の実施結果	事業の達成状況	こまきみらい塾を通じて男女共同参画視点を持った人材の育成を行っているが、受講者が伸び悩んだ。	
		事業実施における課題	男女共同参画を主とした事業からの転換や他課の類似事業との統廃合を含め、事業のあり方を抜本的に見直す必要がある。 男女共同参画の視点を持った人材育成の核となる内容について受講者が伸び悩んでいる。さらに受講しやすい内容となるようにプログラムを構成する必要がある。	
		事業を縮小・廃止したときの影響	男女共同参画の視点を持った人材育成の機会がなくなり、育成した人材を地域に還元することができなくなるため、地域における男女共同参画の啓発に影響を与える。	
	平成27年度の改善内容	27年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	こまきみらい塾については、今後の運営方法等を検討するため、平成27年度から28年度にかけて新規塾生の募集を中止し、教養課程についても開講講座数を22講座から18講座へと減らした。 男女共同参画の視点を持った人材について、今後どのように育成していくか検討する。	
	平成28年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)
		判定理由	女性の活躍による地域社会の活性化を目指すため、引き続き、こまきみらい塾において男女の意識改革や男女共同参画の視点を持った人材を育成すると同時に、今後の事業のあり方について検討し、方向付けを行う必要があるため。	
		28年度以降の改善案	こまきみらい塾については、平成26年度に入塾した塾生が平成28年度に卒業予定であるため、他年度入塾の塾生を含め、卒業をめざした男女の意識改革につながる講座内容で実施する。 地域における男女共同参画の視点を持った人材の育成をどのように行うか、今後の事業のあり方についての方向付けをする。	

二次評価	方向性の判定	判定理由
	縮小	こまきみらい塾は、男女共同参画社会の形成のためのものとした場合、その効果は低く、経費もかけすぎであるため、引き続き、廃止を含め抜本的に見直しに向けた検討を行うこと。 25年度に実施した経営分析の結果を基に引き続き改善に取り組むこと。